

診療用放射線照射器具設置届

年 月 日

熊本市保健所長(宛)

届出人(管理者)

診療用放射線照射器具を設置したいので、医療法第 15 条第 3 項に基づく医療法施行規則第 27 条第 1 項及び第 2 項の規定により届出をします。

(フリガナ)						
名 称						
開 設 の 場 所		〒 校 区				
		TEL			FAX	
器具の概要	装備する放射性同位元素の種類		予定使用開始時期	型 式	筒 数	放射性同位元素
						種 類 数 量
	物理的半減期	30 日以上のもの				Bq
		30 日以下のもの				Bq
診療用放射線照射装置を使用する医師又は歯科医師の氏名及び経歴	氏名		職 種	放射線診療に関する経歴		
所 長	課 長	副課長	主 幹	主 査	班 員	
受 付 印			決 裁 印			起案 年 月 日 本届出書を受理したので 供覧します。
添付書類						
1 放射線照射器具の位置及び照射方向並びに天井、床、周囲の画壁防護物の材料及び厚さを記入した使用室などの図面						
2 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した使用室などの平面図及び側面図						
3 放射線照射器具使用室などにおける遮蔽能力を示す図面及び計算書						

1. 診療用放射線照射器具の概要

器具の概要要素	型	式	管	針	セル	その他
	放射性的同位元素	種	類			
		物理的半減期				
	筒	数				
	数	量	Bq	Bq	Bq	Bq
	物理的半減期30日以下のもの	最大貯蔵予定数量	Bq	Bq	Bq	Bq
1日最大使用予定数量		Bq	Bq	Bq	Bq	

2. 放射線障害防止に関する構造設備等の概要

使用室	室名					
	建築物の構造	1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()				
	筒所	遮蔽物		構造	材料	厚さ (m m)
		天井				
	防護物の概要	周囲の壁	(東)			
			(西)			
			(南)			
			(北)			
		監視用窓				
	床					
	出入口のとびら					
	その他の開口部					
	(*)画壁外側の最大1cm線量当量			mSv/週		
	出入口の数	1.通常出入口		所		2.非常出入口
最大使用数量						
標識	有 ・ 無					
放射線治療病室	病室の概要	名称				
		病床数				
		標識				
	建物の構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()			
	筒所	遮蔽物		構造	材料	厚さ (m m)
		天井				
	防護物の概要	周囲の壁	(東)			
			(西)			
			(南)			
			(北)			
		監視用窓				
	床					
	出入口のとびら					
	その他の開口部					
(*)画壁外側の最大1cm線量当量			mSv/週			

貯蔵施設	最大貯蔵可能数量		Bq				
	建築物の構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()				
	遮蔽物		構造	材料	厚さ (m m)		
	貯蔵室	防護物の概要	筒所				
			天井				
			周囲の壁	(東)			
				(西)			
				(南)			
				(北)			
			監視用窓				
			床				
	出入口のとびら						
	その他の開口部						
	(*)画壁外側の最大1cm線量当量		mSv/週				
	出入口の構造	出入口の数		1.通常出入口 所 2.非常出入口 所			
		甲種防火戸		有 ・ 無			
		閉鎖設備		1.かぎ 2.その他 ()			
	標識		有 ・ 無				
	貯蔵箱	構造		1.耐火構造 2.不燃材料 3.その他 ()			
		閉鎖設備		1.かぎ 2.その他 ()			
		(*)画壁外側の最大1cm線量当量		μ Sv/週			
		標識		有 ・ 無			
	貯蔵容器	貯蔵物形状別構造	気体				
			液体				
			固体				
		(*)貯蔵容器外側の1cm線量当量		μ Sv/時(距離1m)			
標識		有 ・ 無					
貯蔵物の種類・数量の表示		有 ・ 無					
運搬容器	貯蔵物形状別構造	気体					
		液体					
		固体					
	(*)運搬容器外側の1cm線量当量		μ Sv/時(距離1m)				
標識		有 ・ 無					
貯蔵物の種類・数量の表示		有 ・ 無					
管理区域	境界における外部放射線の1cm線量当量(*)		μ Sv/週				
	立入制限措置	標識		有 ・ 無			
		注意事項の表示	従事者用		有 ・ 無		
			患者用		有 ・ 無		
その他の措置		1.柵 2.その他 ()					
その他	(*)敷地内居住区域及び境界の1cm線量当量		μ Sv/3月				
	入院患者(放射線治療患者を除く)の被ばく放射線の1cm線量当量が1.3mSv/3月以下となる措置		有	無			
	被ばく防止のための器具		1.防護衣 2.防護衝立 3.その他 ()				
	取扱者の被ばく線量測定器具		1. ガラスバッチ等 2.その他 ()				

備考

(*) の各放射線量は、それぞれの算出の根拠を明らかにすること。(遮蔽計算書など)